

## 安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名：スリップガード クリア色  
会社名：株式会社ステップソリューション  
住所：大阪市東住吉区西今川1-11-2  
担当部門：品質管理 / 担当者：涌田幸助  
電話番号：06-7164-7101  
FAX番号：06-7897-8197  
緊急連絡先：080-4706-0128

### 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類

物理化学的危険性

エアゾール：区分 1

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

皮膚感作性：区分 1A

発がん性：区分 1A

生殖毒性：区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 1

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 2

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール

高压容器：熱すると破裂のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
授乳中の子に害を及ぼすおそれ  
臓器の障害  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に毒性

#### 特定の物理的及び化学的危険性

高圧の引火性ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。  
非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。  
燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：  
混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
アセトン	< 1	67-64-1	2-542
n-ブチルアルコール	< 1	75-65-0	2-3049
メタクリル酸メチル	< 1	80-62-6	2-1036
エチルベンゼン	18	100-41-4	3-28; 3-60
スチレン	< 1	100-42-5	3-4
トルエン	1.2	108-88-3	3-2
キシレン(異性体混合物)	18	1330-20-7	3-3; 3-60
アクリル酸ブチル	< 1	141-32-2	2-989
エタノール	< 1	64-17-5	2-202
ジメチルエーテル	40 - 50	115-10-6	2-360

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

労働安全衛生法・化学物質管理促進(PRTR)法該当成分については、「15.適用法令」を参照下さい。

### 4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。  
溶剤、シンナーを使用してはならない。  
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚に付着した場合：多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。  
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

嘔吐物を飲み込ませてはならない。

医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。

負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

#### 応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

適切な換気を確保する。

#### 医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

---

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

#### 適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

火災の場合は、泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

使ってはならない消火剤データなし

### 消火を行う者への勧告

#### 特有の消火方法

高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上より行う。

可燃性のものを周囲から素早く取り除く。

エアゾール製品の場合、高温で破裂する恐れがあるため、消火活動は距離を十分に取る。

#### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

### 環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

### 二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する措置を講ずること。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

#### 接触回避

酸化性物質との接触を避けること。

#### 衛生対策

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

##### (避けるべき保管条件)

日光から遮断すること。  
温度が40°C以上のところで保管しない。

安全な容器包装材料データなし

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

(アセトン) 作業環境評価基準(2004)  $\leq 500\text{ppm}$   
(エチルベンゼン) 作業環境評価基準(2012)  $\leq 20\text{ppm}$   
(スチレン) 作業環境評価基準(2004)  $\leq 20\text{ppm}$   
(トルエン) 作業環境評価基準(2009)  $\leq 20\text{ppm}$   
(キシレン(異性体混合物)) 作業環境評価基準(2004)  $\leq 50\text{ppm}$

#### 許容濃度

(アセトン) 日本産衛学会(1972) 200ppm; 470mg/m<sup>3</sup>  
(t-ブチルアルコール) 日本産衛学会(1987) 50ppm; 150mg/m<sup>3</sup>  
(メタクリル酸メチル) 日本産衛学会(2012) 2ppm; 8.3mg/m<sup>3</sup>  
(エチルベンゼン) 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
(スチレン) 日本産衛学会(1999) 20ppm; 85mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(トルエン) 日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(キシレン(異性体混合物)) 日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>

(アセトン) ACGIH(2014) TWA: 250ppm; STEL: 500ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系障害)  
(t-ブチルアルコール) ACGIH(1992) TWA: 100ppm (中枢神経系障害)  
(メタクリル酸メチル) ACGIH(1992) TWA: 50ppm; STEL: 100ppm (上気道及び眼刺激; 体重影響; 肺浮腫)  
(エチルベンゼン) ACGIH(2010) TWA: 20ppm (上気道刺激; 腎臓損傷(腎症); 渦巻管障害)  
(スチレン) ACGIH(2019) TWA: 10ppm;  
STEL: 20ppm (中枢神経系及び聴覚障害; 上気道刺激; 末梢神経障害; 視覚障害)  
(トルエン) ACGIH(2006) TWA: 20ppm (視覚障害; 女性生殖機能; 流産)  
(キシレン(異性体混合物)) ACGIH(1992) TWA: 100ppm STEL: 150ppm (上気道及び眼刺激; 中枢神経系障害)  
(アクリル酸ブチル) ACGIH(1996) TWA: 2ppm (刺激性)  
(エタノール) ACGIH(2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)

#### 特記事項

(アクリル酸ブチル)  
皮膚感作性  
(メタクリル酸メチル)  
皮膚感作性  
(スチレン)  
聴力障害

#### ばく露防止

##### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。  
排気/換気設備を設ける。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

##### 手の保護具

保護手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：淡黄色

臭い：溶剤臭

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点：(ジメチルエーテル)-23.6°C

沸点範囲データなし

可燃性（ガス、液体及び固体）：点火性あり

爆発下限及び爆発上限/可燃限界：

爆発下限：1vol %

爆発上限：26.7vol %

引火点：(ジメチルエーテル)-41°C

自然発火点：(ジメチルエーテル)350°C

分解温度データなし

pH データなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度：0.80±0.02g/cm<sup>3</sup>

相対ガス密度(空気=1)データなし

20℃での蒸気/空気-混合物の相対密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

エアゾール製品の場合 40℃以上になると缶が破裂する恐れがある。

危険有害反応可能性

酸化性物質等と触れると反応する危険性がある。

避けるべき条件

加熱、スパーク、裸火、及びその他の発火源は避ける。

混触危険物質

酸化性物質

危険有害な分解生成物

燃焼により、一酸化炭素、窒素酸化物、その他低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。

---

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性（経口）

(t-ブチルアルコール)rat LD50=2200-3500mg/kg (DFGOT vol.19, 2003)

(メタクリル酸メチル)rat LD50=7800mg/kg (ACGIH 7th, 2015), 7900mg/kg,  
8500mg/kg, 9400mg/kg (以上 ECETOC JACC30, 1995)

(エチルベンゼン) rat LD50=3500mg/kg (EHC 186, 1996)

(スチレン)rat LD50=2650mg/kg (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(キシレン(異性体混合物))rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE 有害性評価書, 2008)

(アクリル酸ブチル)rat LD50=2680-9100mg/kg (ACGIH 7th, 2003)

急性毒性（経皮）

(メタクリル酸メチル)rabbit LD50 > 5000mg/kg (EU-RAR, 2002)

(キシレン(異性体混合物))rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

(アクリル酸ブチル)rat LD50=1700mg/kg (ACGIH 7th, 2003)

急性毒性（吸入）

(メタクリル酸メチル)vapor: rat LC50=7093ppm/4hr (ECETOC JACC 30, 1995; EU-RAR,  
2002; ACGIH 7th, 2015); < 飽和蒸気圧濃度 (38614ppm) の 90%

(エチルベンゼン)vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)

(スチレン)vapor: rat LC50=2770ppm/4hr (環境省リスク評価第13巻, 2015)

(トルエン)vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.

(キシレン(異性体混合物))vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE 有害性評価書, 2008)

(アクリル酸ブチル) vapor: rat LC50=1970-2270ppm/4hr (SIDS, 2004)

## 局所効果

### 皮膚腐食性/刺激性

- (メタクリル酸メチル)ヒト 刺激性 (EU-RAR, 2002); ラビット 刺激性 (EU-RAR, 2002); EU CLP Skin Irrit. 2 (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)
- (スチレン) ラビット 著しい刺激及び部分的な変性 (NITE 初期リスク評価書, 2007)
- (トルエン) ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)
- (キシレン(異性体混合物)) ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE 有害性評価書, 2008)
- (アクリル酸ブチル)ラビット 軽度の刺激性 (PATTY 6th, 2012)眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
- (アセトン)ラビット 角膜上皮の破壊4から6日で回復 (SIDS, 2002)
- (t-ブチルアルコール) ラビット 強度(未洗眼)/中等度(洗眼) (NITE 有害性評価書, 2007)
- (メタクリル酸メチル) ラビット 刺激性 (EU-RAR No.22, 2002; ACGIH 7th, 2015)
- (エチルベンゼン) ラビット 軽度の刺激性 (EHC 186, 1996)
- (スチレン) ラビット 中等度の刺激(7日間持続) (NITE 初期リスク評価書, 2007)
- (トルエン) ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)
- (キシレン(異性体混合物)) ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE 有害性評価書, 2008)
- (アクリル酸ブチル) ラビット 重度の刺激性 (SIDS, 2004 et al)
- (エタノール) ラビット 7日以内に回復 (ECETOC TR No.48(2), 1998 et al)

## 呼吸器感作性又は皮膚感作性

### 呼吸器感作性

(メタクリル酸メチル) cat. 1; 産衛学会, 2012

### 皮膚感作性

(メタクリル酸メチル) cat. 1; EU-RAR No.22, 2002; 産衛学会, 2012; EU CLP (ECHA CL Invt., Access on Jun. 2017)  
(アクリル酸ブチル) cat. 1A; guinea pig/mouse/human : SIDS, 2004

## 生殖細胞変異原性データなし

## 発がん性

- (エチルベンゼン)cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)
- (スチレン)cat.2; IARC Gr. 2B (IARC vol. 82, 2002)
- (エタノール)cat.1A; (IARC, 2010)
- (メタクリル酸メチル)IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
- (エチルベンゼン) IARC-Gr.2B : ヒトに対して発がん性があるかもしれない
- (スチレン) IARC-Gr.2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある
- (トルエン) IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
- (キシレン(異性体混合物))IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
- (アクリル酸ブチル)IARC-Gr.3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
- (エタノール)IARC-Gr.1 : ヒトに対して発がん性がある
- (アセトン) ACGIH-A4(2014) : ヒト発がん性因子として分類できない
- (t-ブチルアルコール) ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない
- (アクリル酸ブチル) ACGIH-A4(1996) : ヒト発がん性因子として分類できない
- (エタノール) ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- (エチルベンゼン)ACGIH-A3(2010) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- (メタクリル酸メチル)ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない
- (スチレン)ACGIH-A3(2019) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
- (トルエン)ACGIH-A4(2006) : ヒト発がん性因子として分類できない
- (キシレン(異性体混合物))ACGIH-A4(1992) : ヒト発がん性因子として分類できない

## 生殖毒性

- (アセトン) cat. 2; EHC 207, 1998
- (t-ブチルアルコール) cat. 2; rat : NITE 初期リスク評価書, 2007
- (エチルベンゼン) cat. 1B; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014
- (スチレン) cat. 1B; 産衛学会許容濃度の提案理由, 2015
- (トルエン) cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012
- (トルエン) cat. 1A; NITE 初期リスク評価書 87, 2006
- (キシレン(異性体混合物)) cat. 1B; ATSDR, 2007
- (エタノール) cat. 1A; human : PATTY 6th, 2012

## 特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

### [区分 1]

- (トルエン) 中枢神経系
- (キシレン(異性体混合物)) 中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓

### [区分 3(気道刺激性)]

- (アセトン) 気道刺激性
- (t-ブチルアルコール) 気道刺激性
- (エチルベンゼン) 気道刺激性
- (スチレン) 気道刺激性
- (トルエン) 気道刺激性
- (エタノール) 気道刺激性

### [区分 3(麻酔作用)]

- (アセトン) 麻酔作用
- (t-ブチルアルコール) 麻酔作用
- (メタクリル酸メチル) 麻酔作用
- (エチルベンゼン) 麻酔作用
- (スチレン) 麻酔作用
- (トルエン) 麻酔作用
- (キシレン(異性体混合物)) 麻酔作用
- (エタノール) 麻酔作用
- (ジメチルエーテル) 麻酔作用

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

### [区分 1]

- (トルエン) 中枢神経系、腎臓
- (キシレン(異性体混合物)) 神経系、呼吸器

### [区分 2]

- (エチルベンゼン) 聴覚器

誤えん有害性

### [区分 1]

- (エチルベンゼン) cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.738 mm<sup>2</sup>/s (25°C)
- (スチレン) cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.772 mm<sup>2</sup>/s (25°C)
- (トルエン) cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm<sup>2</sup>/s (40°C)
- (キシレン(異性体混合物)) cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm<sup>2</sup>/s (25°C) (HSDB, 2014)

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性



## 水生環境有害性

### 水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に毒性

### 水生環境有害性 短期(急性)

- (エチルベンゼン)甲殻類 (ベイシュリンブ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2007)
- (スチレン)藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) EC50=0.72mg/L/96hr (環境省リスク評価第 13 巻, 2015)
- (トルエン)甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE 初期リスク評価書, 2006)
- (ジメチルエーテル) 魚類 (グッピー) LC50 > 4000mg/L/96hr (IUCLID, 2000)
- (キシレン(異性体混合物))魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)
- (アクリル酸ブチル)魚類 (ヒメダカ) LC50=2.42mg/L/96hr (環境省リスク評価第 7 巻, 2009)
- (エタノール) 藻類 (クロレラ) EC50=1000mg/L/96hr (SIDS, 2005)
- (アセトン)魚類 (ファットヘッドミノー) LC50 > 100mg/L/96hr (EHC207, 1998)
- (t-ブチルアルコール) 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50 > 110mg/L/72hr  
(環境省生態影響試験, 2009)
- (メタクリル酸メチル) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50=48mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)

### 水生環境有害性 長期(慢性)

- (エチルベンゼン) 甲殻類 (ネコゼミジンコ) NOEC=0.956mg/L/7days (環境省リスク評価第 13 巻, 2015)
- (スチレン) 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=0.063mg/L/96hr  
(環境省リスク評価第 13 巻, 2015)
- (トルエン) 甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE 初期リスク評価書, 2006)
- (エタノール) 甲殻類 (ニセネコゼミジンコ属) NOEC=9.6mg/L/10days (SIDS, 2005)
- (t-ブチルアルコール)藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=110mg/L/72hr  
(環境省生態影響試験, 2009)
- (メタクリル酸メチル) 甲殻類 (オオミジンコ) NOEC (繁殖阻害)=3.5mg/L/21days  
(環境省生態影響試験, 2017); 藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata)  
NOEC (速度法)= 86mg/L/72hr (環境省生態影響試験, 2017)

## 水溶解度

- (エチルベンゼン)0.015 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2007)
- (スチレン) 0.03 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2006)
- (トルエン) 溶けない (ICSC, 2002)
- (ジメチルエーテル) 4.6 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2008)
- (アクリル酸ブチル) 0.14 g/100 ml (ICSC, 2003)
- (エタノール) 混和する (ICSC, 2000)
- (アセトン) 100 g/100 ml (PHYSPROP\_DB, 2005)
- (t-ブチルアルコール) 混和する (ICSC, 2008)
- (メタクリル酸メチル) 1.6 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

## 残留性・分解性

- (エチルベンゼン)急速分解性なし (良分解性; 標準法における BOD による分解度 : 0% (通産省公報, 1990))
- (スチレン)急速分解性あり (BOD 分解度 : 100%/14 days; GC 分解度 : 100%/14 days (通産省公報, 1979))
- (トルエン)BOD による分解度 : 123% (既存点検)
- (キシレン(異性体混合物))急速分解性なし (BOD による分解度 : 39% (NITE 初期リスク評価書, 2005))
- (アクリル酸ブチル)BOD による分解度 : 61.3% (既存点検)
- (エタノール) 急速分解性あり (BOD による分解度 : 89% (既存点検, 1993))
- (t-ブチルアルコール) 急速分解性でない (BOD による分解度 : 2.5% (既存点検, 1977))
- (メタクリル酸メチル) BOD による分解度 : 94.3% (化審法 DB, 1976)

## 生体蓄積性

- (エチルベンゼン) log Kow=3.15 (PHYSPROP DB, 2005)
- (スチレン) log Kow=2.95 (PHYSPROP DB, 2009)
- (トルエン) log Kow=2.73 (PHYSPROP DB, 2008)
- (ジメチルエーテル) log Pow=0.1 (ICSC, 2002)
- (キシレン(異性体混合物)) log Pow=3.16 (PHYSPROP DB, 2005)
- (アクリル酸ブチル) log Pow=2.36 (PHYSPROP DB, 2005)
- (エタノール) log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)
- (アセトン) log Pow=-0.24 (ICSC, 2009)
- (t-ブチルアルコール) log Pow=0.3 (ICSC, 2008)
- (メタクリル酸メチル) log Pow=1.38 (PHYSPROP DB, 2005); Log Kow=1.38 (20°C)  
(環境省環境リスク評価 第11巻, 2013)

## 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

## 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

## その他情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。  
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

---

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

### 廃棄物の処理方法

- 環境への放出を避けること。
- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
- エアゾール製品の場合は、焼却処理を行わないこと。
- エアゾール製品の場合は、中身を完全に使い切り、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから捨てる。
- 中身の入ったものは絶対に廃棄しない。
- ガスを抜く際には、火気及びミストの吸入などについて注意すること。

### 汚染容器及び包装

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

---

## 14. 輸送上の注意

### 国連番号、国連分類

- 国連番号 : 1950
- 正式輸送名 :
- エアゾール、可燃性
- 分類または区分 : 2.1
- 指針番号: 126
- 特別規定番号 : 63; 190; 277; 327; 344; 381

### 環境有害性

MARPOL 条約附属書 III - 個品有害物質による汚染防止  
海洋汚染物質 (該当/非該当) : 該当

### 国内規制がある場合の規制情報

#### 船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類 2 区分 2.1

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令  
毒物及び劇物取締法に該当しない。

### 労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン; スチレン

有機則 第2種有機溶剤等

アセトン; キシレン(異性体混合物); トルエン

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

エタノール; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); トルエン

名称通知危険/有害物

アクリル酸ブチル; アセトン; エタノール; エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); スチレン;

トルエン; t-ブチルアルコール; メタクリル酸メチル

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 ( $0^{\circ}\text{C} \leq \text{引火点} < 30^{\circ}\text{C}$ )

危険物・可燃性のガス (令別表第1第5号)

健康障害防止指針公表物質 (法第28条第3項)

エチルベンゼン

### 化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); トルエン

### 消防法

第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 III (指定数量 1,000L)

### 高压ガス保安法

このエアゾール製品は容器内容積が1リットル以下、及び温度 $35^{\circ}\text{C}$ において圧力 $0.8\text{MPa}$ 以下、かつ高压ガス保安法施行令関係告示第四条第三項に該当するため、高压ガス保安法の適用除外となります。

### 化審法

優先評価化学物質

トルエン; スチレン; エチルベンゼン; アセトン; キシレン(異性体混合物)

### 悪臭防止法

トルエン; スチレン; キシレン(異性体混合物)

### 大気汚染防止法

有害大気汚染物質

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); スチレン; メタクリル酸メチル

有害大気汚染物質/優先取組

トルエン

### 水質汚濁防止法

指定物質

トルエン; スチレン; キシレン(異性体混合物)

---

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (6th ed., 2015), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第 61 版 (2020 年)

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (Table 3 ECNO6182012)

2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 : 2019

JIS Z 7252 : 2019

2019 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

Hazard Communication Standard - 2012 (29 CFR 1910.1200)

#### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。